

Seaguliy

シーグリー

シーグリーとは
市の鳥カモメ (seagull) と市の
花ユリ (lily) を合わせた造語。
ユリの花言葉のように純粋・
無垢に患者様と向き合います。

副院長 あいさつ



おおき ひさし
大木 央 副院長

皆様、こんにちは。2023年4月より新しく副院長を拝命いたしました整形外科の大木と申します。病院の皆様、また地域の皆様、よろしくお願い申し上げます。

3月までは福井大学附属病院で勤務し、主に股関節、関節リウマチ、手・足の疾患を担当していました。一般的に大学病院の整形外科はそれぞれの分野の専門家集団ですが、すべての整形外科疾患を扱うためにはその間を埋める存在も時に必要となります。私は関節外科一般から重度外傷、神経・血管疾患も多く扱ってきたため、各分野の専門家たちの橋渡しの立場で診療してきました。

大学病院は後進の育成や教育が重要な職務ですので、日々の診療の中で教育に重きを置いておりました。そのため臨床の現場からやや距離をとった立場で仕事をしておりました。もともと臨床医であった私は『一人の医師として臨床の現場に身を置き続けたい』との思いが日々強くなっていくことを感じつつも、それに目を向けないようにしていました。

この度、三国病院へお誘いいただき、一人一人の患者様の近くで診療をしたいという思いを新たにしました。上司でありました福井大学整形外科教授の松峯先生に、無理をお願いして異動させていただきました。マンパワーの足りないところを快く送り出してくださった松峯教授や医局員の皆様はこの場をお借りして深謝いたします。

これまで勤めさせていただいた病院や大学で培った経験が少しでも地域医療に役立てばと考えています。それぞれの患者様との人間関係を感じながら診療できる喜びを噛み締めつつ、地域の整形外科診療に邁進していきたいと思えます。まずは病院や地域の皆様を受け入れていただけるよう努力していきます。

副院長という重責に対する不安も感じていますが、職員の皆様が進んで以上以上に働きやすく、楽しく、誇りを持って仕事ができる病院を目指したいと思います。結果的に皆様により良い診療をご提供できることになるかと信じています。これまで以上にさらに地域の皆様に愛され信頼される、『病院行くなら三国病院!』と言っていただける病院を目指して、誠心誠意努めさせていただく所存です。

地域の皆様、職員の皆様、至らぬことも多々あるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくよろしくお願い申し上げます。

看護部長 あいさつ



かわばた まゆみ
川端 真由美 看護部長

「三国病院にかかって良かった」と地域の皆様から
信頼され、「ここで働いて良かった」と
職員に言ってもらえるような病院にしていけるよう、
努力してまいります。

令和5年4月1日付で、坂井市立三国病院の看護部長を拝命いたしました。

川端と申します。私は、看護師として新規採用のときから福井大学附属病院で39年間余り勤務してまいりました。大学病院では主に急性期看護に関することを学んで実践してきました。

しかし人口の高齢化により、患者さんが急性期治療を終えても、すぐに元の生活に戻れるケースは少なくなっています。そこで、急性期の看護ではなく、地域に密着した在宅支援ができる三国病院で、今までの経験を活かしながら取り組んでいきたいと思い挑戦することを決心しました。

まだ赴任して間もないですが、一般急性期から小児・産科・老年・透析など幅広い医療や看護が実践され、坂井地区の公立拠点病院として、地域の皆様に信頼され重要な役割を果たしていることを実感しております。

今後も地域の医療と連携を深め、患者さんやご家族の皆様の意向を尊重した、ぬくもりのある安心・安全な看護が提供できるように努めてまいります。また、看護職員の人材育成を図り、一緒に働くことで共に成長できる組織を目指し、働きがいのある職場づくりに取り組んでまいります。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

また、お知らせとして令和5年5月25日から訪問看護ステーションが設立します。

患者さまやそのご家族が在宅で安心して過ごしていただけるよう看護の力を最大限に発揮していく所存です。



訪問看護ステーションスタッフ3名です。
よろしくお願いいたします。

地域医療連携室 室長 あいさつ

地域医療連携室 室長
こばやし やす え
小林 保枝

地域の医療機関関係者ならびに福祉施設関係者の皆様には、日頃より当院の医療連携にご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

このたび、地域医療連携室室長を拝命いたしました小林と申します。

当院へ入職後は外来、病棟、また手術部や血液浄化センターなどの特殊部門で学び、主任、看護師長、副看護部長を経て管理業務に就かせていただきました。現場での長年の学びや経験を活かして、坂井市唯一の公立病院として医療と介護の切れ目のないケアを提供できるように、地域医療連携室室長として努力していきたいと思っております。

入院業務においては、医師や医療ソーシャルワーカーと連携を持ち急性期の治療を終えた患者様を受けて、地域に密着した総合病院としての役割を果たすべく一層努力してまいります。

退院業務においては、地域の住民の皆様が住み慣れた地元での暮らしを継続していくためには、医療連携でなく、介護・福祉・保健を含めた連携が重要だと感じております。

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢の入

院患者様が多く、地域における医療・介護の関係機関が連携して、継続的な在宅ケアが必要になっているのが現状です。支援を必要としている方に、必要な手が届き安心して退院できる準備を、医療ソーシャルワーカーや多職種の方々と協働し、入院早期から計画的に関わらせていただきます。それぞれの職種が専門性や専門の視点を活かして、目と声と手を繋ぐことが退院支援であると思っております。

また、入院中は患者様に対してどうしても治療方針がメインになりがちです。医療メインの退院支援ではなく、患者様中心の退院支援を調整できるように、患者様やご家族の意思決定をいかに大事にできるかを意識していきたいです。入院中の多職種カンファレンスなどで情報共有し、患者様の思いに寄り添う看護を心がけたいと思っております。

入院および退院業務だけでなく、室長として地域連携全般の業務に対応し、地域に期待される当院の役割を担っていくためにも、地域の先生や関係者の方々にご指導をいただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室スタッフの紹介

医療ソーシャルワーカー 3名、
事務職員1名が業務にあたっております。

野尻医療ソーシャルワーカー

退院業務を担当しています、野尻と申します。主に入院中の患者さんの退院調整、援助をさせていただいています。最近では退院後の療養場所、療養の仕方、超高齢化、身寄りが無い、経済的問題などに関わる支援が増えていて、患者様ご家族のお悩みも多岐にわたります。

地域の医療・介護・福祉あらゆる関係機関との架け橋の役割を担えるよう、室長を中心に地域医療連携室が団結して、出来ることから取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤医療ソーシャルワーカー

野尻医療ソーシャルワーカーと同じく退院業務を担当しています、佐藤と申します。多職種との連携、地域の各関係機関との連携を取り、患者様が安心して退院を迎えられるよう心がけています。

一人で考えても解決しないことが、人と話をすることで解決の糸口が見つかる、何となく気持ちが前向きになることを私自身が日々感じております。私も、患者様やご家族様にそのように感じていただけるよう関わっていきたくと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

福岡医療ソーシャルワーカー

入院業務を担当しています、福岡と申します。主に外来の患者様や、転院が必要な患者様の受け入れ調整をさせていただいています。

私は今年4月に坂井市役所から地域連携室に異動したばかりで、患者様のご支援や地域の医療機関様との連携など、まだまだわからないことだらけです。これから勉強させていただきながらも、これまでの市役所業務で培った知識と経験を地域の皆様還元できるように努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



リハビリテーション科より通所リハビリ最新情報をお届けします。

令和3年8月に通所リハビリテーションを開設して1年半が過ぎました。おかげさまで利用者さまも少しずつ増え、多くの方にご利用いただいています。地元はもちろん、坂井町やあわら市から通っている方もおり、広い地域から当施設を利用いただき感謝の思いでいっぱいです。

朝早い時間にもかかわらずリハビリ室は通所リハビリや外来リハビリの皆様の活気ある声でスタートを切り、続々とご利用さまが来室され午前中はリハビリに励む熱心な方々にぎわっています。60歳代から90歳代の方まで年齢層も広く、その方に応じた内容でリハビリを提供しています。運動マシンもリニューアルして高齢の方でも安全で使いやすい物を設置しました。

また、ご利用さまやケアマネジャーさまからコメントもいただいております。

ご利用者さまから

「家から近くて運動できる場所があって助かってます」「いたれりつくせりで今の高齢者は幸せです」「病院の中での運動なので安心感があります」

ケアマネジャーさまから

「短時間の運動希望の方には地元で利用できる施設があって本当に助かってます」「自宅から近いので便利です」「入院から退院後も継続できるためスタッフとの信頼関係も得られます」などなど。

今後も安心できるリハビリテーションを提供していけるように、リハビリスタッフ一同、利用者の皆様のサポートをしていきたいと思っております。

プレラインR
腰と背中をシートで支えられるので高齢者の方も運動しやすいマシンです。



プレラインU
自転車タイプの運動マシン。体幹の支持も必要であるため体全体の耐久性がアップします。自転車の練習にもなります。



新しいマシンに入れ替え、ご利用の皆さまもリフレッシュして、意欲的に運動に取り組んでいます。



フィジオパックウオーマー
患部をあたためるパック。
冬期は重宝します。



ワールプール
噴流機能付きの
温浴装置。

